

第3回 地域保健福祉計画策定部会 意見書まとめ(R5.6.30書面開催)

1 計画の基本理念(案)・基本方針(案)について

ご意見・ご意見等		事務局(福祉管理課)回答
1	舎人・入谷地域には、小学校3校・中学校2校あるが、児童数・生徒数に差があり心が痛む。子どもの成長に影響はないか。	児童・生徒数に差が生じていることが、子どもの成長にどのように影響するか、詳細なエビデンスが無いため判断は難しいですが、義務教育では、教育課程による学習をするだけでなく、多くの友人や教師とふれあい、社会性や人間性を身に付けていくことも大切だと考えています。 区では、学校の適正規模の基準を定めており、これを満たさない場合は、学区域変更や学校統合等を実施し、適正な児童・生徒数の集団生活の中で、互いに認め合い、助け合い、競い合いながら成長できる教育環境を整えられるよう取り組んでいきます。【学校運営部学校施設管理課】
2	基本方針① 誰もが健康で暮らせる この文言で、先天的な病気・後天的な障がい等どのような方でも疎外感のような感覚を持たれない配慮も必要ではないか。	計画文中の各基本方針の説明において、疎外感を持たれない配慮と、「自己実現」「自分らしく生きる」メッセージ性をお伝えできればと考えています。
3	基本方針① 誰もが健康で暮らせる どのような健康状態であっても「自己実現」「自分らしく生きる」メッセージ性を込めたキャッチフレーズも検討してはどうか。	今後、計画素案もお示ししていきますので、本部会のなかで一緒に検討をお願いします。
4	基本理念 「認め」→「認めあい」にしたほうがイメージがよい気がするがどうか。	「人と人、人と地域がつながりあう」「多様な個性を認めあう」「互いに支えあう」を、覚えやすく、端的且つ印象的に伝わりやすくなるよう、この表現にしました。
5	基本方針② 「育める」→「育まれる」の方が違和感がないと思うがどうか。	基本方針①～③には、それぞれ「暮らせる」「育める」「活躍できる」に、できる:canのエッセンスで統一しています。 自然とそうなるものではなく、上記のことができる足立区(土壌)にしていくことを目指し、設定しました。
6	基本理念(案)の主旨説明で、国が掲げる「地域共生社会」の要素を取り入れたとあるが、住民の自主的活動を積極的に支えながらも、自治体としての役割・責任を明確に記述をしていくべきではないか。	基本理念の説明のなかで、行政による公助と、地域の自助・共助の力をもって、地域共生社会を目指すことを記載していきます。

2 計画構成(案)全体について

ご意見・ご意見等		事務局(福祉管理課)回答
1	計画の推進に向けて、重層的支援体制の整備とあるが、具体的内容も盛り込んでほしい。	本計画第6章にて盛り込む予定です。 現在、足立区での重層的支援体制について検討を進めておりますので、今後計画策定部会でも共有いたします。
2	基本方針② 施策②で「1 子どもの貧困」となっていますが、全ての子どもを対象とする「子ども・子育て支援」を1にしたほうが、区民への印象も違うのではないか。	区が取り組むボトルネック的課題(治安・学力・健康・貧困の連鎖)の1つであることから、子どもの貧困を1にしておりますが、計画素案作成を進めるなかで、順番入替も検討します。
3	別紙資料1と2で施策の色分けが違うが、フルカラーであれば分かりやすい配色が必要かと思う。	計画の中で配色を統一します。
4	第3章の1 貧困の内容に自殺者数があるが、自殺の要因は様々であることから、別項目に入れたほうがよいかと思う。	計画素案作成を進めるなかで、別の項目設定を含めて検討します。
5	施策④に「計画を推進するための人材づくり」が必要と考える。誰もが担い手になれるような人材づくりが必要。	現在、庁内作業部会にて、施策①～⑤に記載する取組み方針や課題・事業詳細の作文を進めています。 書き進めるなかで、いただいたご意見を取り入れていきます。

裏面に続きます。

3 計画策定に係る地域懇談会の実施について

ご意見・ご意見等		事務局(福祉管理課)回答
1	なるべく少ない参加想定数において、参加して下さる方々が若い世代へ行き届くような周知・参加を促していただくよう努めてほしい。	あだち広報での広い周知のほか、SNS等デジタル媒体でも周知していきます。
2	地域懇談会の参加は、全5か所をすべて参加するのか？割り当ててほしい。	計画策定部会員の皆さまが、割り当てで従事することはありませんが、一参加者として地域懇談会にご参加いただくことは可能です。
3	北東地区の懇談会は、その地区内で開催するのが良いと思う(北西地区2箇所が現状)。	会場の大きさやアクセスの利便性から、竹の塚地区で開催することとしました。
4	北東地区では開催しないのか。	
5	区の中央エリアがカバーされていないのはなぜか。実施場所の選定と理由を教示してほしい。	実施場所は、アンケートの質問1で分けた地域をベースとしながら、利便性も考慮しながら今回の5箇所を選定しました。
6	参加想定数が各回20～30名とのことですが、人数が多く意見が言いにくい面もあります。人数を10～15名にして各会場10回開催してはどうか？	計画策定に係る地域懇談会も初めての試みであることから、まずはお示しさせていただいた概要で開催したいと考えております。 地域懇談会では、5～6人で1テーブルのグループに分かれていただくことを予定しています。 限られた時間で少しでも有意義に意見交換できるよう、各テーブルにはファシリテーターとして委託事業者に入ってくださいと予定です。
7	各会場で平日と土日1回ずつが理想ですが、会場確保等を考えると、やむを得ないか。	
8	地域住民の意見を広く聞くことは重要と思いますが、1か所につき昼間・夜間両方開催すべきと思う。	

4 その他ご質問・ご意見

ご意見・ご意見等		事務局(福祉管理課)回答
1	区の地域福祉の連携強化・健康で豊かな暮らしができる足立区を目指して尽力したい。	—
2	アンケートの回答が低いことに驚いた。わかりやすく、答えやすいアンケートだと思ったが、何%の回答だったか知りたい。	今回は、高齢、障がい、保育、生活支援等の事業所やNPO団体にも依頼し、従業員等に周知のうえ個人でご回答いただいていることから、全体の回答率は算出しておりません。
3	どこかの地域懇談会に、オブザーバー参加してみたいと思っている。	—
4	今回のような事項は、書面開催ではなく部会を開催して審議すべきと思う。	お示ししております策定部会年間スケジュールにて進めさせていただければと存じます。ご了承ください。